

協議した内容		協議の結果(決定した会議日)	
【調査活動費について】			
「ガソリン代に上限を入れること」について		他自治体の調査を行い、協議を重ねた結果、ガソリン代については、現状の運用どおりとすることに全員一致で決定。(11月21日)	
駐車場代については、使用用途をもっと市民の方に分かりやすくする必要があるのではないかと		駐車場代については、現状どおりで、説明責任の運用をしっかりとしていくことを全員一致で決定。(11月21日)	
【資料購入費について】			
「所属政党発行の機関紙は1人当たり1部とする」について		資料購入費の留意事項(4)として「上記資料の購入に関しては、議員1人当たり同一のものは各1部とする」ことを全員一致で決定。(9月26日)	
【広報費について】			
広報費の別表で「写真やプロフィールの割合が10分の2を超えない場合」とあり、全ての写真が該当してしまうので、「写真」の部分で「プロフィール写真」と文言を補ったほうがいいのではないかと。[合理的に説明できる割合]とあるが、[合理的に説明できる割合の按分例]として、按分割合、分子が「政務活動を内容とする面積・分量等」、分母が「紙面の総面積・総分量等」という式を新たに付け加えたら分かりやすいのではないかと。		広報費の別表について、「専ら政務活動であり、写真やプロフィールの割合が10分の2を超えない場合」を、「専ら政務活動であり、プロフィールやプロフィール写真の割合が10分の2を超えない場合」に変更する。また、合理的に説明できる割合の按分例として、「按分割合」イコール「紙面の総面積・総分量等」分の「政務活動を内容とする面積・分量等」を欄外に付け加えることを全員一致で決定。(11月21日)	
【事務費について】			
「事務費は、政務活動以外の活動と区分できない場合は、2分の1を上限として充当できるものとする」について		事務費の留意事項(7)として「事務費は、政務活動以外の活動と区分できない場合は、2分の1を上限として充当できるものとする」ことを全員一致で決定。(8月20日)	
生成AI(サブスク)を加えられないかと。		現状の事務費の例示のソフトウェア代等の範囲の部分は当然認め、新しいものについては、今後、議論していくことを全員一致で決定。(11月21日)	
【今回改正点の施行期日について】		「運用指針は、令和7年4月1日から施行する。改正後の運用指針の規定は、令和7年4月1日以後に交付される政務活動費から適用し、同日前に交付された政務活動費については、なお従前の例による」ことを全員一致で決定。(12月18日)	

第17期町田市議会改革調査特別委員会を開催

11月21日、12月18日に開催され、次の付議事件や請願の審査が行われました。

付議事件

①議員の調査活動等に関する事項

②議会の権能・機能強化に関する事項

③議会の情報提供に関する事項

の調査・検討

第17期町田市議会改革調査特別委員会中間報告

この委員会は、市議会のあり方についての議論を深め、議会の権能・機能強化及び議員の調査活動等について改革を進め、活性化を図るため、令和4年6月30日に設置されたものです。

今回は、付議事件①議員の調査活動等に関する事項について、一部調査結果が出ましたので、12月23日の本会議にて、

本会議の質疑から

条例・その他

第111号議案 町田市立公園条例等の一部を改正する条例

議員 今回の施設のよう「受益者負担の適正化に関する基本方針」に基づく受益者負担100%になつていない状況の施設はどの程度あるのか。また、その中で今回の時期で4施設のみ改正する理由は何か。

都市整備担当部長 公園内のスポーツ施設は30施設あり、受益者負担割合が100%に達している施設はありません。4施設のみ利用料金改定する理由については、まず、改定を検討するに当たっては、球場、体育館、グラウンド等

録画配信ページ→

会議録検索ページ→

おいて、中間報告が行われました。

報告内容については、政務活動費について、町田市議会政務活動費使途基準の運用指針についての協議等を抜粋した左表をご覧ください。

詳細は、町田市議会ホームページ内、議会中継ページ内の録画配信および会議録の検索ページからご覧ください。

議員提出議案

意見書(要旨)

本定例会では意見書1件を可決し、議長名で関係行政庁へ提出しました。要旨は次のとおりです。

国に対し、町田市内の湧水と気泡の発生について速やかな原因究明と住民への説明会実施を、JR東海に指導することを求める意見書

24年10月22日、リニア中央新幹線のトンネル掘進ルート上の民家(町田市小野路)の庭に、突然、湧水と気泡が発生した。地域住民は不安を抱えた状態で過ごしており、早期の原因究明が求められる。地域住民への丁寧な説明など、地域の納得が得られなければ、工事再開は許されない。よって、町田市議会は、国に対して、町田市内の湧水と気泡の発生について速やかな原因究明と住民への説明会実施を、JR東海に指導することを求めるものである。

内閣総理大臣ほか5件宛て

議員提出議案第30号 町田市議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例

刑法の改正に伴い、関係する規定を整理するため、改正するものです。

本議案は12月23日の本会議で全員一致で可決しました。

議員提出議案第32号 町田市市税条例の一部を改正する条例

現在実施している都市計画税の税率の軽減措置を延長することにより、引き続き納税者の税負担の軽減を図るものです。

本議案は12月23日の本会議で賛成多数で可決しました。

請願の処理経過及び結果報告

令和6年(2024年)第3回町田市議会定例会において採択された、請願について、次のとおり報告がありました。

心身障がい者に対するタクシー運賃補助を町田市事業とする請願

経過及び結果

今回採択されました請願の主旨及び委員会審査における請願者のご意見を踏まえ、移動が困難な障がいのある方の支援として、使途を定め、タクシー運賃補助について、あらためて実現性、妥当性を検討いたしました。

請願では、補助の対象をタクシー運賃に限定し、対象者を下肢障がいや視覚障がい等に限定した事業とのご要望がありました。また、通院交通

費助成制度など既存の支援制度については維持継続したうえで新たな補助事業としてタクシー運賃補助を求めること、タクシー利用のニーズとしては急な通院や余暇活動があることなどの意見陳述がございました。

こうした願意を踏まえ、障がいのある方の移動の支援について考察したところ、バリアフリー化の進展や公共交通機関の運賃割引など社会全体での様々な支援が整ってきています。また、障害者総合支援法に基づく各種障害福祉サービスなどにより支援の充実が図られている現状がございます。

町田市におきましても、「あいちゃん号」・「やまゆり号」の名称で親しまれている車いすのままで乗車できるリフト付き車両の運行を行い、公共交通機関の利用が困難な方の移動の支援を行っているほか、通院に伴う経済的負担の軽減を目的にタクシー運賃を含めた公共交通機関の運賃の助成を行う「心身障がい者通院交通費助成制度」を実施しています。

一方で、社会環境の変化に伴うライフスタイルの変化や価値観の多様化などにより、障がいのある方やご家族、支援者の方々からは、今回請願をいただいたタクシー運賃補助だけでなく、障がい福祉に関する様々なご要望が寄せられています。

障がいがある方の自立した生活を支援していくためには、その時々の社会環境の変化に合わせて、取り組むべき事業を見出し、実施していく必要があると考えており、取り組むべき優先度の高いものについては、「町田市障がい者プラ

～常任委員会の活動状況～

町田市議会では、常任委員会の活動として、市内の各種団体の皆さんと懇談会を開催し、市民と議会の意見を交換する場としています。懇談会で出された意見については、議会活動に反映させていただきます。12月までに開催した懇談会は次のとおりです。

日付	団体名	内容	対応した常任委員会
11月29日	町田市障がい者福祉懇談会	障がい者と家族の高齢化に伴う問題と対策について 等	健康福祉
12月16日	特定非営利活動法人 東京養育家庭の会みどり支部町田	養育家庭について意見交換	文教社会

主なご意見(抜粋)

○緊張感のある議会になるよう、その場でのナマの意見交換があるとよいと思います。

○傍聴者が少なくおどろきました。市民はもっと積極的に市政に関与すべきと思います。

○難聴者なので字幕がたよりです。生なので字幕が早くて追いつくのに大変でしたが会議の様子を傍聴できてよかったです。ありがとうございました。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

8ページをご覧ください

第1表歳入歳出予算補正につきましては、まず歳入において分担金および負担金歳入金を削減する一方で、歳入歳出を増額しております。9ページをご覧ください

歳出につきましては、民生費に児童福祉費を増額しております

その結果

字幕表示モニター

＜議場傍聴席設置＞

傍聴者の声

町田市議会では、12月定例会で傍聴者に対してアンケートを実施し、傍聴されて気づいた点や市議会全般についてご意見をお聞きする機会としています。傍聴券の交付を受ければどなたでも傍聴することができます。また、本会議、常任委員会、特別委員会等は、ライブ中継・録画配信を行っています。ぜひご覧ください。

傍聴者の声

町田市議会では、12月定例会で傍聴者に対してアンケートを実施し、傍聴されて気づいた点や市議会全般についてご意見をお聞きする機会としています。傍聴券の交付を受ければどなたでも傍聴することができます。また、本会議、常任委員会、特別委員会等は、ライブ中継・録画配信を行っています。ぜひご覧ください。